

## 6月21日 授業参観と学級懇談会、学校評議員会

本年度2回目の授業参観日。この日は平日に関わらず、多くの参観者が来校しました。開校から二か月半が過ぎ、授業や学校生活が軌道に乗ってきた生徒たちの姿を、多くの保護者の皆さんに見ていただきました。学級懇談会では、画像や動画による宿泊を伴う研修の報告もあり、これまでの生徒たちの歩みに保護者の皆さんは目を細めていました



積極的に挙手をする生徒たち

「数学の授業で問題を解くときに、自然と周りで相談し合っている姿が見られました。みんなで理解し合う授業になっているのだなあと感じました。挙手する子も多く、相談し合うことで安心して授業に臨んでいるのだなあと思いました。」

「音楽の授業でした。市の音楽祭の課題曲らしく、個人的には先生の質問に意見を出し、パート練習では和気あいあいと意見交換し、いい雰囲気だなあと思いました。皆で同じ目標をもち、素敵な合唱が聴けるといいな。皆さんの合唱を聴く日が楽しみです。」



講演会には多くの方の参加がありました。

授業参観後行われた、PTA家庭教育委員会主催の「教育講演会」にも、多くの参加者がありました。講師は岐阜県教育委員会、東濃地区スクールカウンセラー・スーパーバイザー川原聡氏。「現代の子どもとの接し方」と題したこの講演会は、楽しさと共に多くの「学び」を提供してくれました。笑いあり共感ありのすてきなひとときとなりました。

「とても面白く良い話でした。自分の遙か昔の中学時代は忘れ、今の子どもたちの気持ちはわからないと、都合の良い言い訳をしていました。子どもの気もちに寄り添い、共感し、でも手は出さない。自力で立てる、自分で考えて行動をする大人に育てないとな……と思いました。」

この日は、今年度初めての学校評議員会も同時に開催しました。土岐地区、明

世地区、日吉地区、釜戸大湫地区から、それぞれ区長会代表者、公民館代表者、そしてPTA会長の9名が評議員として、これまでの瑞浪北中学校の教育活動を客観的に評価してくださいました。

初めてということで、それぞれの地域の代表の方にそれぞれの地区の子どもたちがどのように学習や生活をしているのかを直接確かめていただきました。また、今後学校と地域がより密に連携することを互いに確かめました。